

なごや生きもの一斉調査2018

アリ編 報告書

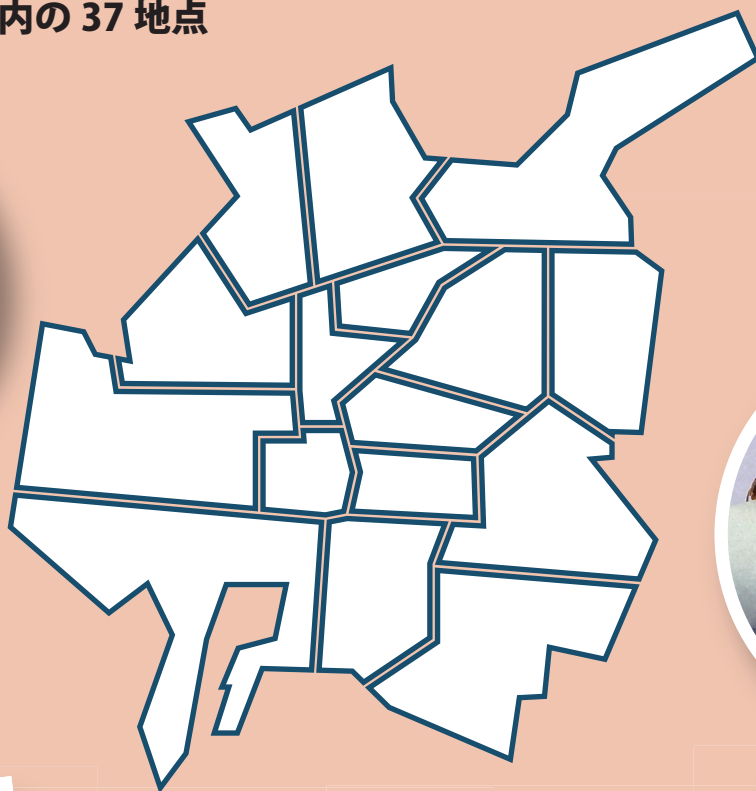
実施日

一斉調査 平成30年8月31日(金)・9月1日(土)・2日(日)

補足調査 平成30年8月17日～9月13日までの9日間

調査場所

名古屋市内の37地点



主催：なごや生物多様性保全活動協議会

協力：公益財団法人 日本自然保護協会・公益財団法人 名古屋市みどりの協会・

岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム教授）・寺山守（東京大学農学部・理学博士）

目 次

1. 概要	1
1-1. はじめに	
1-2. 目的	
1-3. 実施体制	
2. 実施内容	2
2-1. 調査日時	
2-2. 調査地点	
2-3. 参加者数	
2-4. 一斉調査の流れ	
2-5. 調査方法	
3. 調査結果	6
4. 各調査地点で見つかったアリ	10
5. 種別確認地点	18
6. まとめ	34
7. 調査後のアンケート	35
7-1. 調査に対する満足度	
7-2. 参加者について	
7-3. 参加者の声 ―アンケートより一部抜粋―	
8. 同定資料	38
9. 活動アルバム	40

1. 概要



1-1. はじめに

なごや生物多様性保全活動協議会は、なごやに生息する生物及びその環境の継続的な調査を行い、生物多様性の現状を把握するとともに、外来生物の防除など身近な自然の保全を実践することを目的として、平成 23 年 5 月 15 日に設立されました。平成 30 年 3 月末現在、66 の会員（団体会員 42、個人会員 23 および名古屋市）により構成されています。

協議会ではその活動の一環として、年一回、市民参加型の「なごや生きものの一斉調査」を実施しており、2018 年はアリを対象として調査を行いました。

なお、今回の一斉調査は公益財団法人日本自然保護協会主催の「自然しらべ 2018 身近なアリしらべ！」と協力して行われました。

1-2. 目的

- (1) どこにでもいるアリを身近な公園で調べることで、地元の自然環境に興味をもってもらいます。また、だれでも簡単に見つけられるアリを対象とすることで、より自然に対して関心を持ってもらう機会になります。
- (2) 同じ公園内でも、環境が異なるところに色々な種類のアリが生息していることを知っていただき、生物多様性を知ってもらうきっかけを提供します。
- (3) 近年、外来種の侵入・危険性が話題となっているアリを対象とすることで、外来種・在来種に対して関心を持ってもらう機会になります。また、在来種のアリの分布状況や生息状況を知るためのデータとして役立てます。

1-3. 実施体制

主 催：なごや生物多様性保全活動協議会

（事務局：名古屋市環境局なごや生物多様性センター内）

協 力：公益財団法人 日本自然保護協会

公益財団法人 名古屋市みどりの協会

岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム教授）

寺山守（東京大学農学部・理学博士）

2. 実施内容



2-1. 調査日時

日 程：平成 30 年 8 月 31 日（金）、9 月 1 日（土）、9 月 2 日（日）

時 間：全日とも 10:00～12:00

2-2. 調査地点

名古屋市 37 地点（p.4 参照）

2-3. 参加者数

のべ 166 人（参加者はチラシやホームページで公募）

2-4. 一斉調査の流れ

(1) 事前リーダー講習会

日 時：

① 8 月 26 日（日）14:00～16:00

② 8 月 27 日（月）10:00～12:00

場 所：なごや生物多様性センター

講 師：岸本年郎 氏（ふじのくに地球環境史ミュージアム教授）

- ・ 各調査地のリーダーを対象とし、調査目的や調査・同定方法などを説明するリーダー講習会（図 1）を実施。

※リーダー（またはサブリーダー）は上記 2 日間のうちどちらかに出席。

- ・ 調査リーダーのための手引きを作成し、一斉調査で使用する調査道具一式を配布。
- ・ 一連の説明後、講習会参加者はセンター敷地内にてアリの採集（図 2）および顕微鏡での同定を体験。



図 1. リーダー講習会



図 2. センター敷地内での採集

(2) 調査当日

<午前>

- ・ 各調査地で参加者に採集道具と同定資料(日本自然保護協会作成「身自然しらべ 2018 身近なアリしらべ!」パンフレット: p.38、39 参照)を配布。
- ・ 調査リーダーが調査の目的や方法について説明(図 3)した後、採集開始。
- ・ ある程度採集した後、調査リーダー・サブリーダーが中心となり、参加者全員で顕微鏡やルーペを用いて同定を実施(図 4)。

<午後>

- ・ 調査リーダーが現地で採集したすべてのアリを、なごや生物多様性センターまで持参。その後、専門家およびセンター職員によって再同定を実施。

※センターにて再同定したアリはすべて日本自然保護協会へ送り、

寺山守 氏(東京大学農学部・理学博士)に最終的な同定を行っていただきました。



図 3. 調査リーダーによる説明(興正寺公園)



図 4. 同定作業(東谷山フルーツパーク)

(3) 補足調査について

補足調査は、参加者のアクセスなどの関係で一斉調査から漏れた地点や、一斉調査では調査がされにくい環境(落葉層など)にて実施しました。また、名古屋市内で最も自然環境が残されている地域の一つである東谷山(No.26)の林内でも調査を実施しました。なお、調査方法の確認のための調査も補足調査として扱いました。



図 5. 東谷山(No. 26)の林内

【調査地点の位置図と一覧】

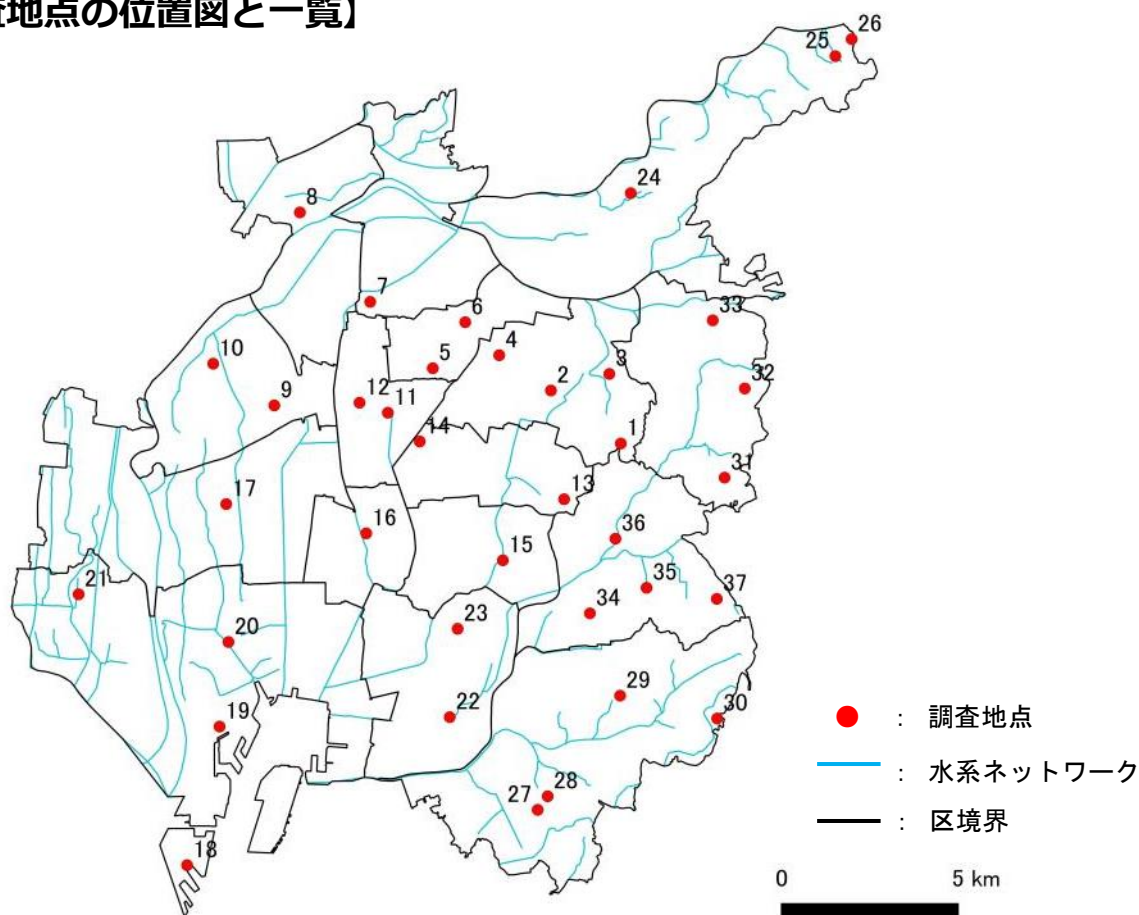


図 6. 調査地点の位置図

表 1. 調査地点一覧

地点 No.	区名	調査地名	調査リーダー (補足調査者)	調査日	調査 区分 (※)
1	千種	東山公園	瀧川正子	8/31	一斉
2	千種	城山八幡宮	長谷川泰洋	9/2	一斉
3	千種	平和公園	伴 知幾	8/31	一斉
4	千種	千種公園	石原則義	8/31	一斉
5	東	布池公園	佐藤裕美子	9/1	一斉
6	東	徳川園	堀田恭史	8/31	一斉
7	北	名城公園	(寺本匡寛・西部めぐみ)	8/17	補足
			佐藤裕美子	9/2	一斉
8	西	庄内緑地	彦坂靖子	8/31	一斉
9	中村	米野公園・熊野社	(寺本匡寛)	8/28	補足
10	中村	中村公園	寺本匡寛	9/2	一斉
11	中	久屋大通庭園	加藤律子	8/31	一斉
12	中	白川公園	野中賢輔	9/1	一斉
13	昭和	興正寺公園	熊澤慶伯	9/1	一斉
14	昭和	鶴舞公園	(寺本匡寛・西部めぐみ)	8/17	補足
			山下哲範	9/1	一斉
15	瑞穂	瑞穂公園	近藤記巳子	9/1	一斉
16	熱田	熱田神宮公園	山本雅人	9/2	一斉
17	中川	荒子公園	熊澤慶伯	9/2	一斉
18	港	金城ふ頭中央緑地	(寺本匡寛)	8/28	補足
19	港	稲永東公園	(寺本匡寛・西部めぐみ)	9/7	補足
20	港	荒子川公園	川本洋敬	9/1	一斉
21	港	農業文化園・戸田川緑地	山本祐紀	8/31	一斉
22	南	大江川緑地	梅本洋子	8/31	一斉
23	南	呼続公園	榊原 靖	9/2	一斉
24	守山	小幡緑地	石原則義	9/2	一斉
25	守山	東谷山フルーツパーク	田原尉之	8/31	一斉
26	守山	東谷山	(寺本匡寛・西部めぐみ)	9/13	補足
27	緑 緑	大高緑地A	(西部めぐみ)	8/23	補足
			大矢芳樹	8/31	一斉
28	緑	大高緑地B	谷幹雄	9/1	一斉
29	緑	滝ノ水緑地	鷺見順子	8/31	一斉
30	緑	みどりが丘公園	上田理香	8/31	一斉
31	名東	牧野ヶ池緑地	井 賢治	8/31	一斉
32	名東	猪高緑地	井土清司	9/1	一斉
33	名東	明徳公園	布目 均	8/31	一斉
34	天白	相生山緑地	近藤記巳子	9/2	一斉
35	天白	天白公園	梅本洋子	9/1	一斉
36	天白	なごや生物多様性センター	(寺本匡寛)	8/9	補足
			岸本年郎	8/26 8/27	リーダー講習会
37	天白	荒池緑地	(寺本匡寛)	8/19	補足
			櫻井広二	8/31	一斉

※一斉：一斉調査、補足：補足調査

2-5. 調査方法

(1) 見つけ採り

- ・ チャック袋に筆や指でアリを追い込んで採集しました（図 7）。この際、一つのチャック袋にはなるべく一種のアリのみが入るようにしました。
- ・ 様々な環境を調査するために、花壇や舗装路、樹林地など各調査地点内で環境の異なる場所を 3 か所程度選出して採集を行いました。
- ・ アリを探す際は、倒木や石の下、木の上（樹皮）、朽木や枯れた竹の中なども確認しました。
- ・ 落葉層（A₀ 層）中に潜むアリはふるいふるいとトレーを使って採集しました（図 8）。

(2) ベイトトラップ

- ・ ガムシロップを含ませた綿棒や粉チーズを厚紙の上に置き、10 分程度放置した後に集まってきたアリを採集しました（図 9）。



図 7. 筆を使った採集の様子



図 8. ふるいふるいを使った採集の様子



図 9. ベイトトラップ（左写真）と粉チーズに群がるトビイロシワアリ（右写真）

3. 調査結果



- ・ 全 37 調査地点で計 **43 種**のアリを確認しました（表 2）。これは、市内で 2010 年までに確認された 61 種^{*1}の約 70.4%にあたります。
なお、表 2 にはリーダー講習会および補足調査の結果も含まれますが、一斉調査と同一地点で補足調査を行った場合は、両調査を合算した結果を示しました。
- ・ 確認した 43 種のうち、**ナワヨツボシオオアリ**（p.19 参照）、**ハダカアリ**（p.25 参照）、**トゲハダカアリ**（p.25 参照）は**名古屋市初記録**^{*1}でした。
また、**クロヒメアリ**（p.26 参照）と**カドムネボソアリ**（p.30 参照）は **愛知県初記録**^{*2}でした。
- ・ 希少種^{*3}の**ヒラタウロコアリ**（p.29 参照）は 3 地点、**カドムネボソアリ**は 2 地点で確認されました。このうち、ヒラタウロコアリは 3 地点ともすべて落葉層（A₀ 層）中から採集されました（図 10）。
- ・ **外来種**の**アフデコヌカアリ**（p.18 参照）が農業文化園・戸田川緑地（No.21）で確認されました。
また、同じく**外来種**の**ケブカアメイロアリ**（p.23 参照）が、興正寺公園（No.13）、瑞穂公園（No.15）、なごや生物多様性センター（No.36）で確認されました。

<引用文献>

- *1：株式会社テクノ中部（2010）名古屋市における動植物の生息・生育実態調査委託報告書.
- *2：公益財団法人日本自然保護協会（2019）自然しらべ 2018 身近なアリしらべ！結果報告.
- *3：日本産アリ類画像データベース（<http://ant.miyakyo-u.ac.jp/J/index.html>）.



図 10. 補足調査にてヒラタウロコアリを確認した場所
左：名城公園（No. 7）、右：稲永東公園（No. 19）

確認種ランキング

なごや生きもの一斉調査 2018 アリ編

順位	種名	確認 地点数
1	クロヤマアリ	33
2	ハリブトシリアゲアリ	33
3	トビイロシワアリ	31
4	アミメアリ	30
5	オオズアリ	26
6	オオハリアリ	26
7	トビイロケアリ	25
8	アメイロアリ	25
9	サクラアリ	18
10	キイロシリアゲアリ	16

自然しらべ 2018 身近なアリしらべ！

順位	種名	報告数
1	クロヤマアリ	145
2	トビイロシワアリ	112
3	アミメアリ	101
4	ハリブトシリアゲアリ	85
5	クロオオアリ	73
6	トビイロケアリ	72
7	オオズアリ	71
8	アメイロアリ	60
9	オオハリアリ	55
10	サクラアリ	48

公益財団法人日本自然保護協会（2019）『自然しらべ 2018 身近なアリしらべ！ 結果報告』より引用。

- ・ 「なごや生きもの一斉調査 2018 アリ編 」にて最も多くの地点で確認されたのは、**クロヤマアリ**と**ハリブトシリアゲアリ**でした。
- ・ 日本自然保護協会主催「自然しらべ 2018 身近なアリしらべ！」の結果と比較すると、ほぼ同じ種がトップ 10 入りする結果となりました。



クロヤマアリ



ハリブトシリアゲアリ

表 2. なごや生きもの一斉調査結果一覧

No.	亜科名	属名	区名	千種				東	北	西	中村	中	昭和				
			調査地番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			調査地名	東山公園	城山八幡宮	平和公園	千種公園	布池公園	徳川園	名城公園	庄内緑地	米野公園・熊野社	中村公園	久屋大通庭園	白川公園	興正寺公園	鶴舞公園
			種名														
1	カタアリ亜科	カタアリ属	シベリアカタアリ			●											
2		ルリアリ属	ルリアリ	●		●											
3		コヌカアリ属	アワテコヌカアリ														
4	ヤマアリ亜科	オオアリ属	イトウオオアリ														
5			クロオオアリ	●				●		●			●			●	
6			ナワヨツボシオオアリ														●
7			ヒラズオオアリ														
8			ヨツボシオオアリ								●						
9			ウメマツオオアリ	●									●				
10		ヤマアリ属	クロヤマアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11			ケアリ属	クロクサアリ							●						
12		ケアリ属	ハヤシケアリ														
13			トビイロケアリ	●	●			●	●	●	●			●	●	●	●
14			カワラケアリ										●				
15			アメイロアリ属(仮)	ケブカアメイロアリ												●	
16		アメイロアリ属(仮)	アメイロアリ	●		●		●	●	●	●	●	●		●	●	●
17			サクラアリ	●			●	●		●				●	●		●
18			サムライアリ属	サムライアリ													
19	フタフシアリ亜科	アシナガアリ属	ヤマトアシナガアリ		●												
20		ハダカアリ属	ハダカアリ														
21			トゲハダカアリ														
22		シリアゲアリ属	ハリブトシリアゲアリ	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
23			キイロシリアゲアリ						●	●		●		●	●	●	
24			テラニシシリアゲアリ					●							●		
25		ヒメアリ属	クロヒメアリ														
26			ヒメアリ							●							
27			キイロヒメアリ								●						
28		カドフシアリ属	カドフシアリ														
29		オオズアリ属	オオズアリ	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●	●
30		アミメアリ属	アミメアリ	●		●		●	●	●	●	●		●	●	●	●
31		アゴウロコアリ属	ヒラタウロコアリ							●							
32		トフシアリ属	トフシアリ							●							
33		ウロコアリ属	ウロコアリ									●					
34		ムネボソアリ属	ムネボソアリ				●	●	●		●						
35			カドムネボソアリ					●			●						
36			ハヤシムネボソアリ														
37			ハリナガムネボソアリ		●				●	●		●					
38		シワアリ属	トビイロシワアリ	●		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
39		ウメマツアリ属	ウメマツアリ														
40	ハリアリ亜科	フトハリアリ属	オオハリアリ				●	●		●	●	●	●	●	●	●	
41			ケブカハリアリ								●						
42		ハリアリ属	ヒメハリアリ														
43	カギバラアリ亜	カギバラアリ属	イトウカギバラアリ														
			確認種数	11	5	8	6	13	9	15	11	9	9	9	10	11	11

● は名古屋市初記録(うちクロヒメアリ、カドムネボソアリは愛知県初記録)、赤字は希少種、青字は外来種を示す。

瑞穂	熱田	中川	港区				南区		守山区			緑区				名東		天白区				確認地点数	出現率(%)
15 瑞穂公園	16 熱田神宮公園	17 荒子公園	18 金城ふ頭中央緑地	19 稲永東公園	20 荒子川公園	21 農業文化園・戸田川緑地	22 大江川緑地	23 呼続公園	24 小幡緑地	25 東谷山フルーツパーク	26 東谷山	27 大高緑地A	28 大高緑地B	29 滝ノ水緑地	30 みどりが丘公園	31 牧野ヶ池緑地	32 猪高緑地	33 明徳公園	34 相生山緑地	35 天白公園	36 なごや生物多様性センター	37 荒池緑地	
						●											●					3	8.1
										●					●	●						5	13.5
						●																1	2.7
																			●			1	2.7
●	●							●	●												●	10	27.0
											●										●	3	8.1
											●											1	2.7
																						1	2.7
			●	●		●	●		●		●	●	●	●		●		●			●	14	37.8
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●			●		●	33	89.2
																						1	2.7
											●											1	2.7
	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●		●	●	●	●	●		25	67.6
																	●					2	5.4
●																					●	3	8.1
	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●		●					●	25	67.6
	●	●	●	●		●		●	●					●				●			●	18	48.6
																					●	1	2.7
											●						●					3	8.1
																					●	1	2.7
									●													1	2.7
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	33	89.2
	●		●	●	●				●		●		●						●	●		16	43.2
						●					●								●			5	13.5
			●								●										●	3	8.1
				●																	●	3	8.1
											●											2	5.4
											●											1	2.7
●	●	●	●			●	●	●	●	●		●	●			●			●	●	●	26	70.3
●	●	●	●	●	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	30	81.1
				●															●			3	8.1
																						1	2.7
												●										2	5.4
	●			●			●							●		●					●	10	27.0
																						2	5.4
	●																					1	2.7
	●			●		●								●							●	9	24.3
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	31	83.8
														●								1	2.7
	●		●	●	●	●		●	●	●	●		●			●	●	●	●		●	26	70.3
																						1	2.7
				●																		1	2.7
											●											1	2.7
7	14	8	12	15	7	12	7	11	12	11	14	6	7	10	5	11	7	8	10	6	18	6	

4. 各調査地点で見つかったアリ



表中の No. は表 2 (p.8、9) と対応。

赤字は希少種、**青字**は外来種、**緑字**は 1 地点でしか確認されなかった種、

 は名古屋市初記録（または愛知県初記録）を示します。

千種区

1. 東山公園：11 種

No.	種名
2	ルリアリ
5	クロオオアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

2. 城山八幡宮：5 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
19	ヤマトアシナガアリ
29	オオズアリ
37	ハリナガムネボソアリ

3. 平和公園：8 種

No.	種名
1	シベリアアカタアリ
2	ルリアリ
10	クロヤマアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

4. 千種公園：6 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
34	ムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

東区

5. 布池公園：13 種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
24	テラニシシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
35	カドムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ **愛知県初記録**で**希少種**の**カドムネボソアリ**が確認されました。

6. 徳川園：9 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
22	ハリフトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
37	ハリナガムネボソアリ

北 区

7. 名城公園：15 種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
11	クロクサアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリフトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
26	ヒメアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
31	ヒラタウロコアリ
32	トフシアリ
37	ハリナガムネボソアリ
40	オオハリアリ

- ・ 全調査地点中、**本地点でのみクロクサアリ**と**トフシアリ**が確認されました。
- ・ **希少種**の**ヒラタウロコアリ**が確認されました。

西 区

8. 庄内緑地：11 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
22	ハリフトシリアゲアリ
27	キイロヒメアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
35	カドムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ **愛知県初記録**で**希少種**の**カドムネボソアリ**が確認されました。

中 村 区

9. 米野公園・熊野社：9 種

No.	種名
8	ヨツボシオオアリ
10	クロヤマアリ
16	アメイロアリ
22	ハリフトシリアゲアリ
30	アミメアリ
37	ハリナガムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ
41	ケブカハリアリ

- ・ 全調査地点中、**本地点でのみヨツボシオオアリ**と**ケブカハリアリ**が確認されました。

10. 中村公園：9 種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
14	カワラケアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
33	ウロコアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

中 区

11. 久屋大通庭園：9 種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

12. 白川公園：10 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

昭 和 区

13. 興正寺公園：11 種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
15	ケブカアメイロアリ
16	アメイロアリ
23	キイロシリアゲアリ
24	テラニシシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 外来種のケブカアメイロアリが確認されました。

14. 鶴舞公園：11 種

No.	種名
6	ナワヨツボシオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 名古屋市初記録のナワヨツボシオオアリが確認されました。

瑞穂区

15. 瑞穂公園：7種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
15	ケブカアメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

- ・ 外来種のケブカアメイロアリが確認されました。

中川区

17. 荒子公園：8種

No.	種名
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

熱田区

16. 熱田神宮公園：14種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
36	ハヤシムネボソアリ
37	ハリナガムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 全調査地点中、本地点でのみハヤシムネボソアリが確認されました。

港区

18. 金城ふ頭中央緑地：12種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
25	クロヒメアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 愛知県初記録のクロヒメアリが確認されました。

19. 稲永東公園：15 種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
26	ヒメアリ
30	アミメアリ
31	ヒラタウロコアリ
34	ムネボソアリ
37	ハリナガムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ
42	ヒメハリアリ

- ・ 全調査地点中、**本地点でのみヒメハリアリ**が確認されました。
- ・ **希少種**のヒラタウロコアリが確認されました

20. 荒子川公園：7 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

21. 農業文化園・戸田川緑地：12 種

No.	種名
1	シベリアカタアリ
3	アワテコヌカアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
24	テラニシシリアゲアリ
29	オオズアリ
37	ハリナガムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 全調査地点中、本調査地点でのみ**外来種**のアワテコヌカアリが確認されました。

南区

22. 大江川緑地：7 種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
34	ムネボソアリ
38	トビイロシワアリ

23. 呼続公園：11 種

No.	種名
5	クロオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
21	トゲハダカアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- 全調査地点中、**本地点でのみ名古屋市初記録**のトゲハダカアリが確認されました。

25. 東谷山フルーツパーク：11 種

No.	種名
2	ルリアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
25	クロヒメアリ
27	キイロヒメアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- 愛知県初記録**のクロヒメアリが確認されました。

守 山 区

24. 小幡緑地：12 種

No.	種名
5	クロオオアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

26. 東谷山：14 種

No.	種名
6	ナワヨツボシオオアリ
7	ヒラズオオアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
12	ハヤシケアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
19	ヤマトアシナガアリ
23	キイロシリアゲアリ
24	テラニシシリアゲアリ
28	カドフシアリ
30	アミメアリ
40	オオハリアリ
43	イトウカギバラアリ

- 名古屋市初記録**のナワヨツボシオオアリが確認されました。
- 全調査地点中、**本地点でのみヒラズオオアリ、ハヤシケアリ、カドフシアリ、イトウカギバラアリ**が確認されました。

緑 区**27. 大高緑地 A : 6 種**

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
33	ウロコアリ

28. 大高緑地 B : 7 種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

29. 滝ノ水緑地 : 10 種

No.	種名
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
37	ハリナガムネボソアリ
39	ウメマツアリ

- ・ 全調査地点中、**本地点でのみウメマツアリ**が確認されました。

30. みどりが丘公園 : 5 種

No.	種名
2	ルリアリ
10	クロヤマアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

名 東 区**31. 牧野ヶ池緑地 : 11 種**

No.	種名
2	ルリアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
16	アメイロアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

32. 猪高緑地 : 7 種

No.	種名
13	トビイロケアリ
14	カワラケアリ
19	ヤマトアシナガアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

33. 明德公園 : 8 種

No.	種名
1	シベリアカタアリ
9	ウメマツオオアリ
13	トビイロケアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

天 白 区

34. 相生山緑地：10 種

No.	種名
4	イトウオオアリ
10	クロヤマアリ
13	トビイロケアリ
23	キイロシリアゲアリ
24	テラニシシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
31	ヒラタウロコアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ 全調査地点中、**本地点でのみイトウオオアリ**が確認されました。
- ・ **希少種**の**ヒラタウロコアリ**が確認されました

35. 天白公園：6 種

No.	種名
13	トビイロケアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
38	トビイロシワアリ

36. なごや生物多様性センター：18 種

No.	種名
5	クロオオアリ
6	ナワヨツボシオオアリ
9	ウメマツオオアリ
10	クロヤマアリ
15	ケブカアメイロアリ
16	アメイロアリ
17	サクラアリ
18	サムライアリ
20	ハダカアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
25	クロヒメアリ
26	ヒメアリ
29	オオズアリ
30	アミメアリ
34	ムネボソアリ
37	ハリナガムネボソアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

- ・ **愛知県初記録**の**クロヒメアリ**が確認されました。
- ・ **名古屋市初記録**の**ナワヨツボシオオアリ**、**ハダカアリ**が確認されました。
- ・ 全調査地点中、**本地点でのみサムライアリ**と**ハダカアリ**が確認されました。
- ・ **外来種**の**ケブカアメイロアリ**が確認されました。

37. 荒池緑地：6 種

No.	種名
10	クロヤマアリ
17	サクラアリ
22	ハリブトシリアゲアリ
23	キイロシリアゲアリ
38	トビイロシワアリ
40	オオハリアリ

5. 種別確認地点



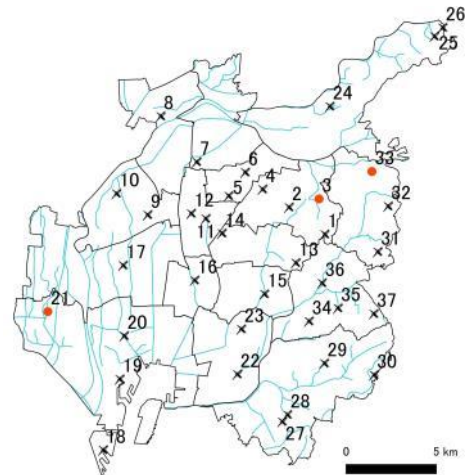
分類順〈表 2 (p8、9) の No. 順〉に紹介します。

1. シベリアカタアリ 確認地点数：3

平和公園 (No.3)、農業文化園・戸田川緑地 (No.21)、明徳公園 (No.33) で確認されました。

体長は 2.5～3mm で、腹部には黄色い斑紋はんもんがあります。

確認された場所は、平和公園では炭焼き広場近くのクスノキの幹上、農業文化園・戸田川緑地ではフラワーセンター周辺の土の上や木の幹上、明徳公園では東屋やキャンプ場の付近といった様々な環境下でした。

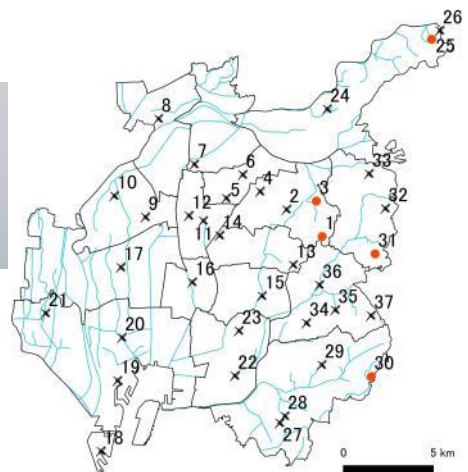


2. ルリアリ 確認地点数：5

東山公園 (No.1)、平和公園 (No.3)、東谷山フルーツパーク (No.25)、みどりが丘公園 (No.30)、牧野ヶ池緑地 (No.31) で確認されました。

体長は 2mm 前後で、腹部には青あるいは紫の光沢があります。

草地や林縁部りんえんでごく普通に見られる種であることから、東山公園や平和公園では草や葉の上、みどりが丘公園では木の根の間、牧野ヶ池緑地では木の上といった場所で確認されました。



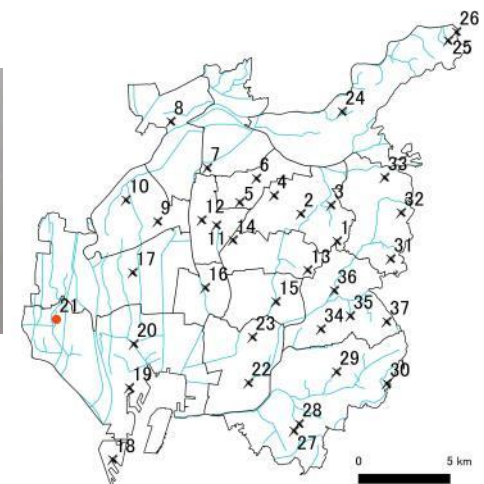
3. アワテコヌカアリ 確認地点数：1

農業文化園・戸田川緑地 (No.21) のみで確認された外来種です。

世界中の熱帯・亜熱帯でみられ、日本では鹿児島県から南西諸島においてごく普通に見られます。

体長 1.5mm 前後の小型のアリで、体色は褐色と淡黄色の 2 色を示します。

今回の調査では、フラワーセンター (温室) 周辺の花壇や舗装路上で確認されていることから、温室内から逸出いっしゅつしたものが定着した可能性があります。

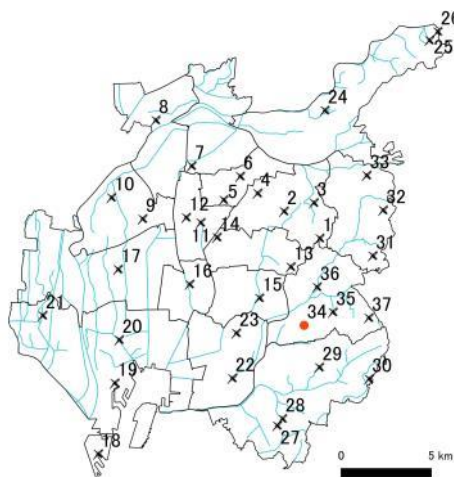


4. イトウオオアリ 確認地点数：1

相生山緑地（No.34）のみで確認されました。

体長 3.5～4.5mm で、本州平野部において比較的良好に見られる樹上性のアリです。

今回の調査では林内にて確認されました。

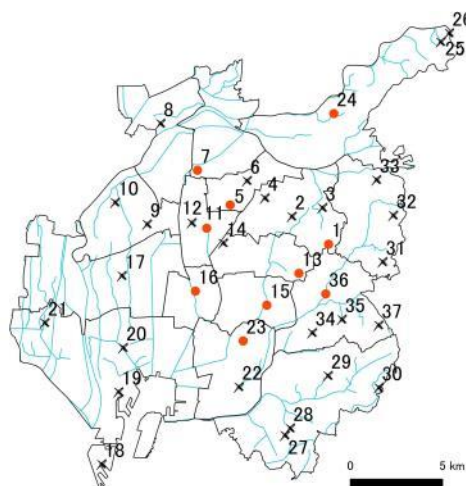


5. クロオオアリ 確認地点数：10

東山公園（No.1）、布池公園（No.5）、名城公園（No.7）などで確認されました。

体長 7～12mm と大型で、全身が黒色のアリです。

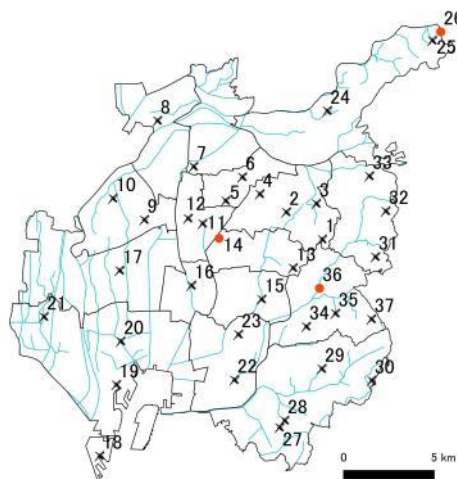
裸地や草地といった開けた環境を好むため、布池公園や名城公園などでは裸地、瑞穂公園（No.15）、熱田神宮公園（No.16）などでは草地で確認されました。



6. ナワヨツボシオオアリ 確認地点数：3

鶴舞公園（No.14）、東谷山（No.26）、なごや生物多様性センター（No.36）で確認されました。名古屋市内では**初記録**となります。

体長 4～5mm、体は黒～黒褐色ですが、前胸部は赤褐色～黒褐色、脚や触覚は褐色です。また、腹部に黄斑がありますが、斑紋の無い個体もあります。

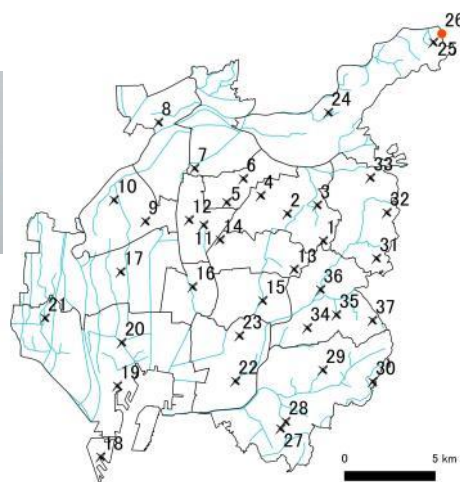


7. ヒラズオオアリ 確認地点数：1

東谷山（No.26）のみで確認されました。

働きアリには小型（2.5～3mm）と大型（5mm 程度）があり、大型働きアリは頭部前方が平らになっています。東谷山で採集されたのは小型働きアリでした。大型働きアリはふつつ巢外に現れず、巢の入り口を内部から巨大な頭で栓をしてガードしています。

低地から山地の林内や林縁に生息しており、今回の調査では南社古墳周辺の林内にて採集されました。

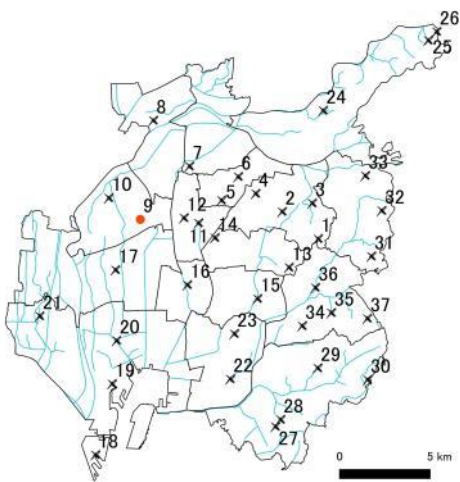


8. ヨツボシオオアリ 確認地点数：1

米野公園・熊野社（No.9）のみで確認されました。

体長 5～6mm、ナワヨツボシオオアリより大きく、腹部の黄斑は消失することはありません。

樹上性のため、今回確認されたのも樹木の樹皮上でした。

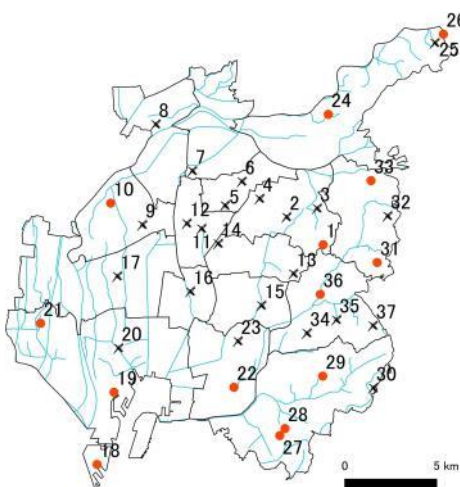


9. ウメマツオオアリ 確認地点数：14

中村公園（No.10）、大江川緑地（No.22）、大高緑地 A（No.27）・B（No.28）などで確認されました。

体長 3.5～5mm で、働きアリには大型と小型の2タイプがいます。

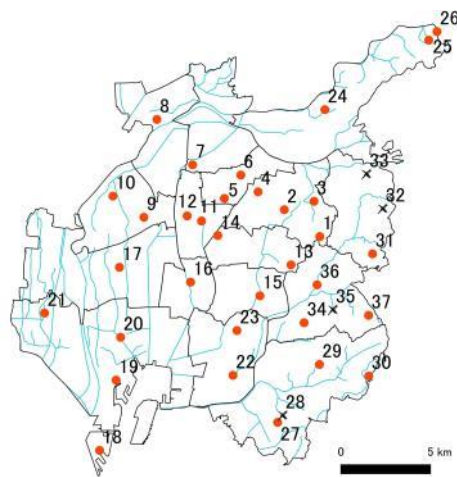
林縁部に生息する樹上性の種であることから、確認された場所は林縁部の草むらや樹上がほとんどでした。なお、東山公園（No.1）では見つけ採りのほかにベイトトラップ（ガムシロップ）でも採集されました。



10. クロヤマアリ 確認地点数：33

大高緑地 B (No.28)、猪高緑地 (No.32)、明德公園 (No.33)、天白公園 (No.35) の 4 地点を除く、33 地点で確認されました。

体長は 4～6mm で、最も普通に見られるアリの一つです。舗装路や公園の散策路など、路上ですばやく走り回っているアリは、大体がこのクロヤマアリです。



11. クロクサアリ 確認地点数：1

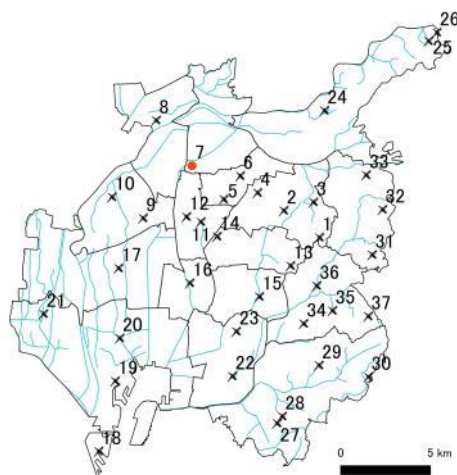
名城公園 (No.7) のみで確認されました。

体長は 4mm 前後、全身は黒褐色～黒色で光沢があります。巣が樹木の根部にあり、樹木に生息するアブラムシの甘露を定常的な餌にしています。

今回の調査では、野球場南側の樹林地にて採集されました。



公益財団法人日本自然保護協会提供
(撮影:高野丈)



12. ハヤシケアリ 確認地点数：1

東谷山 (No.26) のみで確認されました。

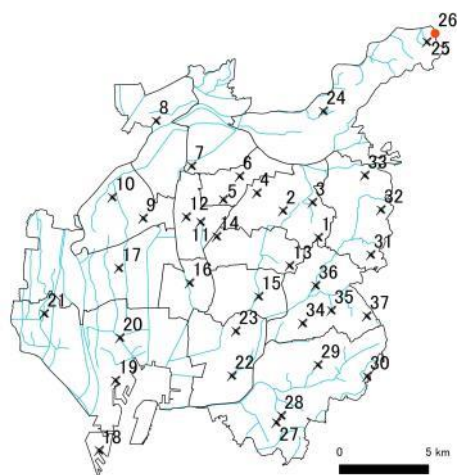
体長は 2.5～4mm で、頭部・胸部が明るい褐色、腹部は暗褐色の 2 色性を示します。

林内に生息し、巣は立木の腐朽部、特に根元付近にあります。

今回の調査では、南社古墳北側の谷の朽木にて採集されました。



公益財団法人日本自然保護協会提供 (撮影:高野丈)



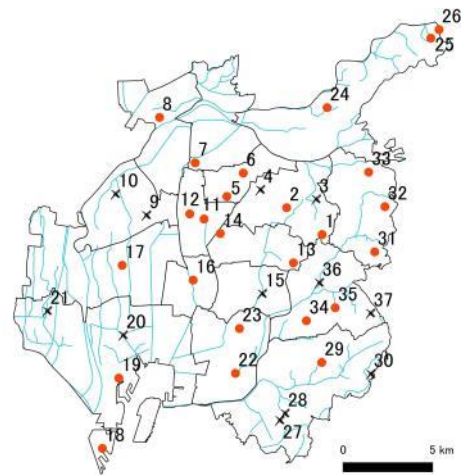
13. トビイロケアリ 確認地点数：25

城山八幡宮（No.2）や徳川園（No.6）、滝ノ水緑地（No.29）などで確認されました。

体長は 2.5～4mm、全体的には暗褐色～黒褐色で、頭部・胸部はやや明るいことがあります。前掲のハヤシケアリほど明瞭な 2 色性は示しません。

草地や裸地に近い環境から林内まで多様な環境に生息し、土中や朽木中に営巣します。

城山八幡宮（No.2）ではムクノキの樹皮上で、徳川園や名城公園（No.7）では舗装路上、滝ノ水緑地では水辺の草むらといった、様々な環境で確認されました。

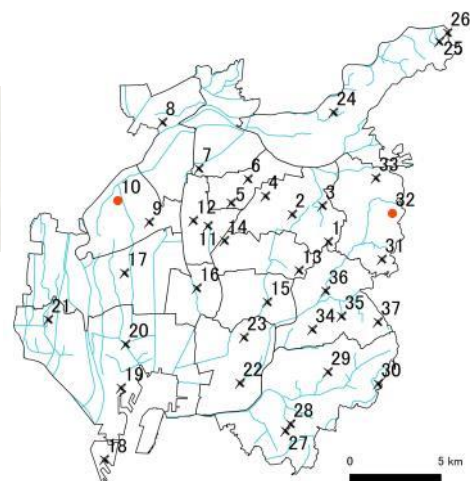


14. カワラケアリ 確認地点数：2

中村公園（No.10）と猪高緑地（No.32）で確認されました。

体長は 2.5～3.5mm、全身はトビイロケアリより明るい褐色です。

河原や海岸などの乾燥した砂質土壌に営巣するとされていますが、今回確認した 2 地点とも樹上で採集されました。

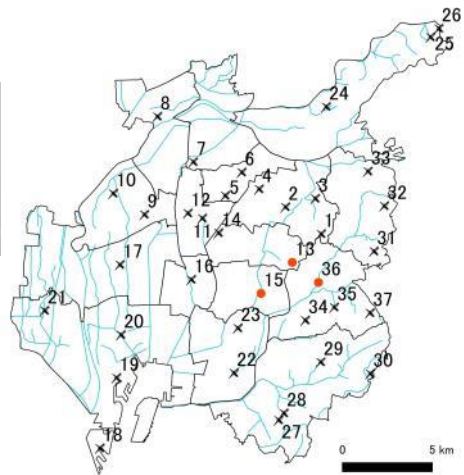


15. ケブカアメイロアリ 確認地点数：3

興正寺公園（No.13）、瑞穂公園（No.15）、なごや生物多様性センター（No.36）の3地点で確認されました。

体長 2～3mm、全身は黒褐色で、触角と脚はやや淡い黒褐色です。

本種は熱帯アジア原産の**外来種**と考えられていますが、南西諸島や小笠原諸島では普通に見られ、近年本州各地で生息が確認されています。



なお、今回の一斉調査後、市内における本種の分布状況をより詳しく知るために、別途調査が行われました。詳細は『なごやの生物多様性 第6巻』に掲載されている「名古屋市におけるケブカアメイロアリの定着」（下記ウェブサイトから閲覧可能）をご参照ください。

【名古屋市ウェブサイト：なごや生物多様性センター機関誌『なごやの生物多様性』】

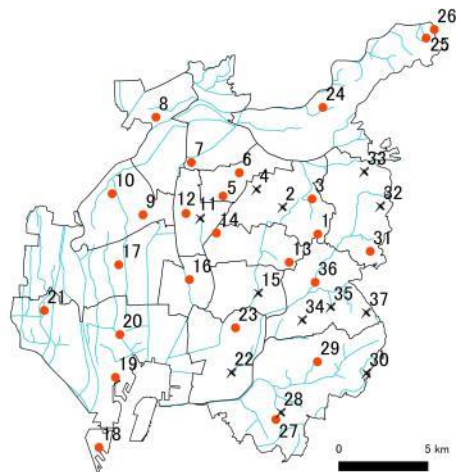
<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000103464.html>

16. アメイロアリ 確認地点数：25

布池公園（No.5）、庄内緑地（No.8）、呼続公園（No.23）などで確認されました。本州ではごく普通に見られる種で、今回の調査でも6割以上の地点で確認することができました。

体長 1.5～2mm、典型的な個体は頭部・胸部が黄褐色で腹部は暗褐色です。

土中や落葉中、朽木など地表近くに営巣するため、庄内緑地や中村公園（No.10）、白川公園（No.12）、小幡緑地（No.24）など、落葉中から採集された地点が多く見られました。

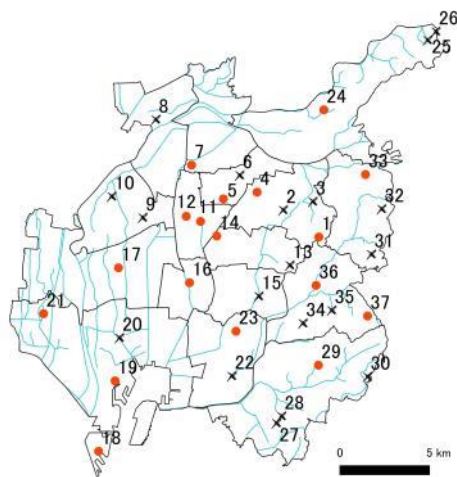


17. サクラアリ 確認地点数：18

東山公園（No.1）、白川公園（No.12）、荒池緑地（No.37）などで確認されました。

体長 1～1.5mmの微小なアリで、体は褐色～暗褐色、触角と脚はやや淡色です。

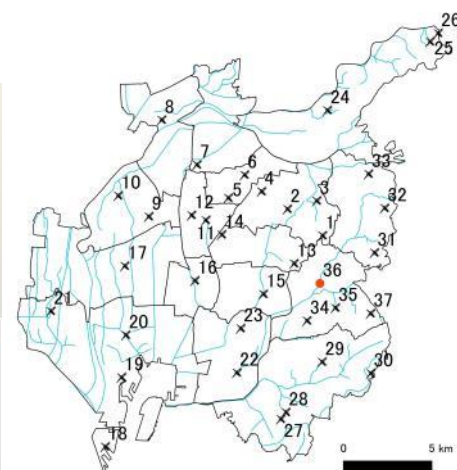
裸地や^{かくらん}攪乱地に生息し、土中に営巣します。



18. サムライアリ 確認地点数：1

なごや生物多様性センター（No.36）のみで確認されました。

体長 7mm前後、全身は黒褐色です。働きアリは自分では餌をとることも噛み砕くこともできません。そのかわりに、クロヤマアリ（p.27 参照）などヤマアリ属の巣を集団で襲い、^{さなぎ}蛹と^{ようか}蛹化直前の幼虫を略奪し、巣に持ち帰った後、成虫になったアリを奴隷として働かせます。

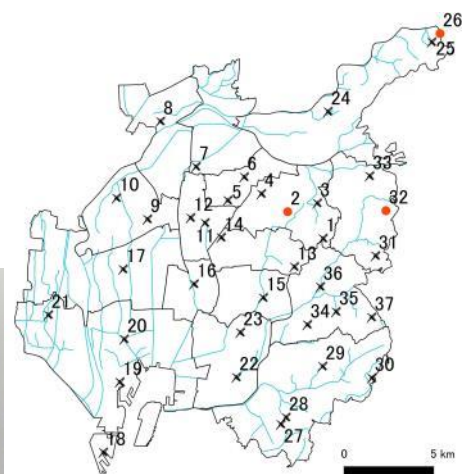


19. ヤマトアシナガアリ 確認地点数：3

城山八幡宮（No.2）、東谷山（No.26）、猪高緑地（No.32）で確認されました。

体長 3.5～5mm、体は褐色～暗褐色、触角や脚などはやや黄色身を帯びます。

林内や林縁に生息します。

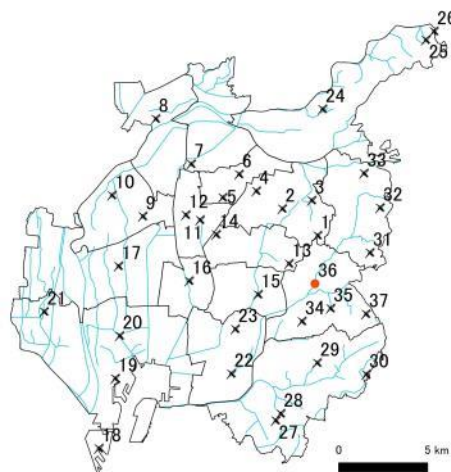


20. ハダカアリ 確認地点数：1

なごや生物多様性センター（No.36）のみで確認されました。名古屋市内では**初記録**となります。

体長 1.5～2mm、全身が微小な伏毛に覆われますが、立毛はほとんどありません。

海岸や都市部の裸地、道路脇などに生息し、石下や土中に営巣します。



公益財団法人日本自然保護協会提供
(撮影:高野丈)

21. トゲハダカアリ 確認地点数：1

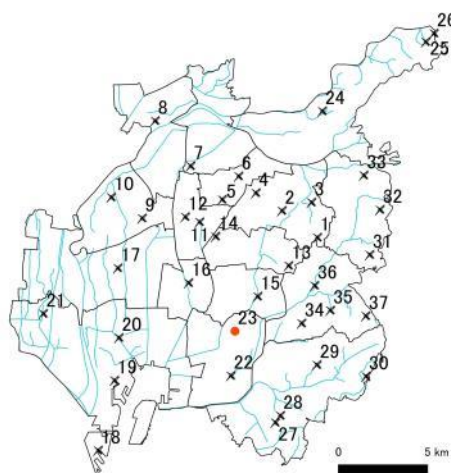
呼続公園（No.23）のみで確認されました。名古屋市内では**初記録**となります。

体長 2mm、体は黒～黒褐色です。

今回の調査では、曽池の北側にて採集されました。



※腹部にハリフトシリアゲアリが噛みついています。

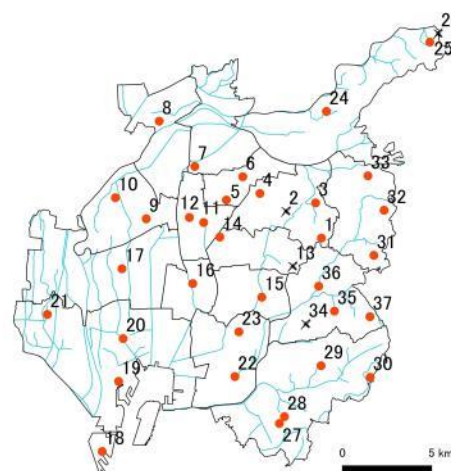


22. ハリフトシリアゲアリ 確認地点数：33

城山八幡宮（No.2）、興正寺公園（No.13）、東谷山（No.26）、相生山緑地（No.34）の4地点を除く、33地点で確認されました。

体長 2～3.5mm、頭部から腹部前半が黄褐色～褐色、腹部後半は黒褐色で明瞭な二色性を示す場合が多いですが、全身暗褐色の個体もいます。

自然林、公園、街路樹を問わず樹上に生息するため、市内全域の調査地点で確認することができました。

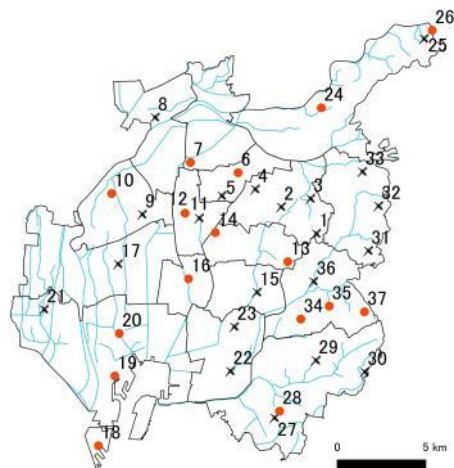


23. キイロシリアゲアリ 確認地点数：16

徳川園 (No.6)、名城公園 (No.7)、中村公園 (No.10) などで確認されました。

体長 2～3mm、体は黄色で腹部の後半はやや暗色です。

草地、林床などの石の下や土中に営巣します。

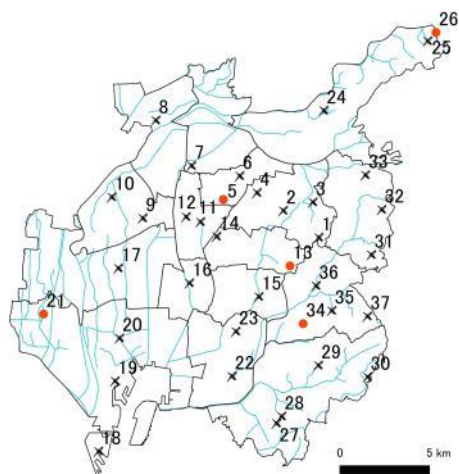


24. テラニシシリアゲアリ 確認地点数：5

布池公園 (No.5)、興正寺公園 (No.13)、農業文化園・戸田川緑地 (No.21)、東谷山 (No.26)、相生山緑地 (No.34) で確認されました。

体長 2～4mm、体は褐色～黒褐色です。

公園や林内に生息し、樹上の枯枝や枯竹の中に営巣します。

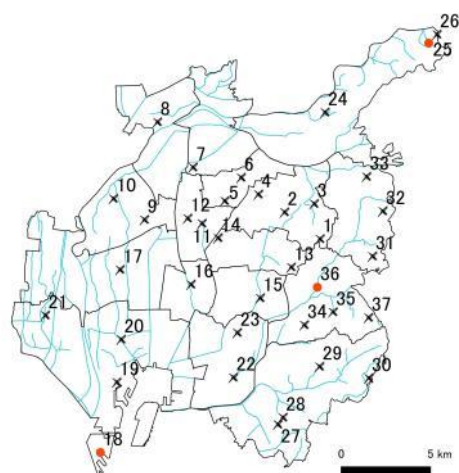


25. クロヒメアリ 確認地点数：3

金城ふ頭中央緑地 (No.18)、東谷山フルーツパーク (No.25)、なごや生物多様性センター (No.36) で確認されました。**愛知県初記録種**です。

体長 1.5mm弱の小型のアリで、体は赤褐色～黒褐色、体表面に彫刻はなく、なめらかで光沢があります。

林縁から草地の乾いた環境に多く、土中や植物の根元などに営巣します。



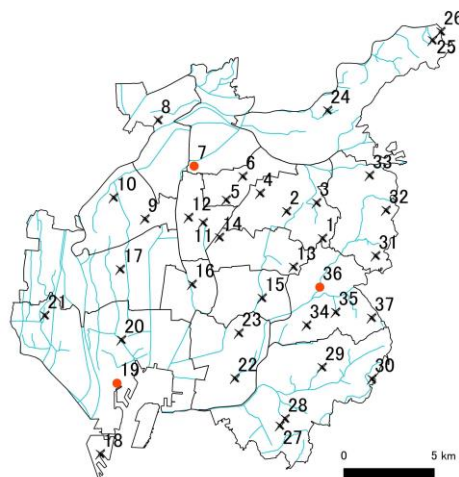
26. ヒメアリ 確認地点数：3

名城公園 (No.7)、稲永東公園 (No.19)、なごや生物多様性センター (No.36) で確認されました。



体長 1.5mm弱で、頭部から腹柄部までは濃黄色～黄褐色、腹部は暗褐色の 2 色性を示します。

林縁から草地に生息し、生木の枯枝、石下などに営巣します。



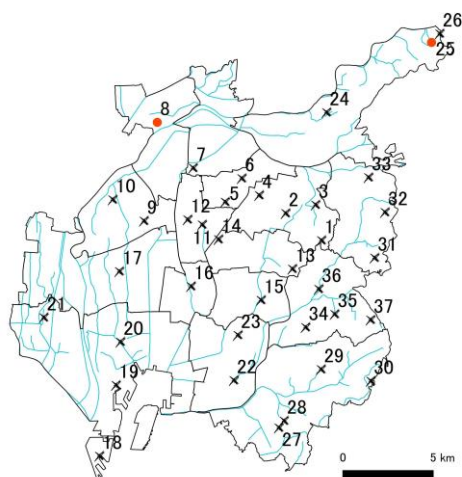
27. キイロヒメアリ 確認地点数：2

庄内緑地 (No.8)、東谷山フルーツパーク (No.25) で確認されました。



体長 1.5mm、体は全体が黄色～黄褐色で、草地から林縁まで生息します。

庄内緑地ではベイトトラップ (ガムシロップ) で、東谷山フルーツパークではカキ園にて見つけ採りで採集されました。



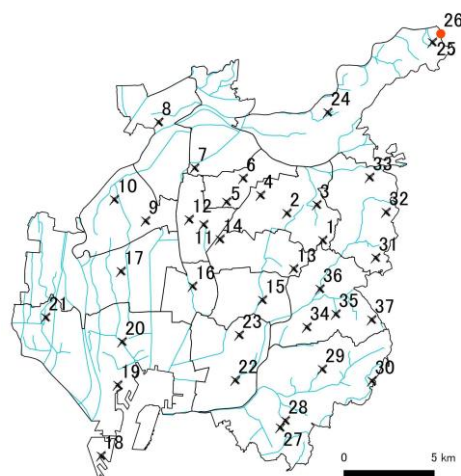
28. カドフシアリ 確認地点数：1

東谷山 (No.26) のみで確認されました。

体長 2.5～3mm、体は赤褐色～黒褐色で、脚、触角、大あごは黄色～黄褐色です。

平地から標高 1,000mまでの林床に生息し、土中に営巣します。

東谷山では林内に設置したベイトトラップ (ポテトチップス) にて採集されました。

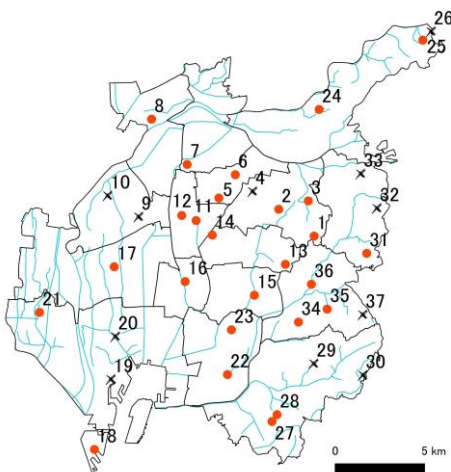


29. オオズアリ 確認地点数：26

平和公園 (No.3)、瑞穂公園 (No.15)、小幡緑地 (No.24) など約 7 割の地点で確認されました。

働きアリには小型と大型の 2 型 (右写真) があり、体長は小型働きアリで 2~3mm、大型働きアリは 4.5~5mm です。

林内から比較的開けた場所まで生息し、土中や落葉中に営巣します。今回の調査ではほとんどが土の上や舗装路などで確認されましたが、布池公園 (No.5) や名城公園 (No.7)、大江川緑地 (No.22) などでは樹上でも採集されています。また、見つけ採り以外に白川公園 (No.12) や大高緑地 A・B (No.27、No.28) では粉チーズやガムシロップのベイトトラップでも採集されました。



小型働きアリ



大型働きアリ(兵アリ)



30. アミメアリ 確認地点数：30

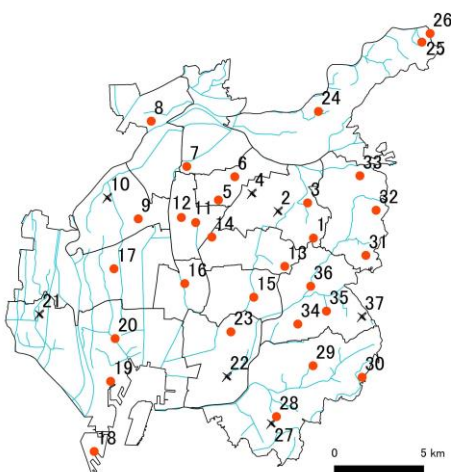
東山公園 (No.1)、平和公園 (No.3)、久屋大通庭園 (No.11) など約 8 割の地点で確認されました。

体長 2.5mm 前後、体は褐色~赤褐色で、触角や脚は黄色身を帯びます。腹部を除く全身に網目状の荒い彫刻があります。腹部は立毛がなく、強い光沢があります。

本種には女王アリはおらず、働きアリが働きアリを産みます (単為生殖)。

攪乱地、草地、疎林などに生息しますが、定住巣は作らず、石下や倒木に野営の巣を作り、頻繁に引越しします。

今回の調査では見つけ採り以外にポテトチップスやガムシロップのベイトトラップでも採集されました。

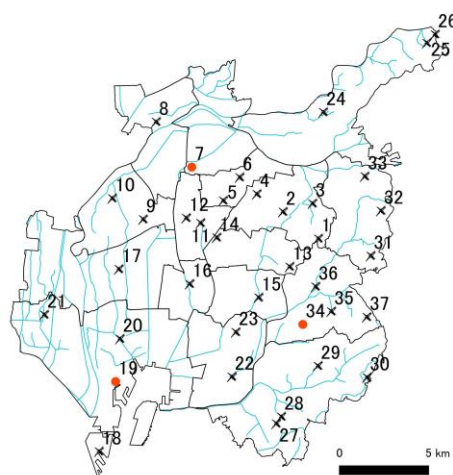


31. ヒラタウロコアリ 確認地点数：3

名城公園 (No.7)、稲永東公園 (No.19)、相生山緑地 (No.34) で確認されました。

体長 1.5～2mm、全身が黄褐色～暗褐色です。頭部は薄く、後方で広く、前方で狭まります。また、腹柄部全体の下に海綿状付属物があります。

主に照葉樹林の林床に生息し、落葉層を篩ふるいにかけることで採集できます。今回確認された3地点もすべて篩で採集されました。



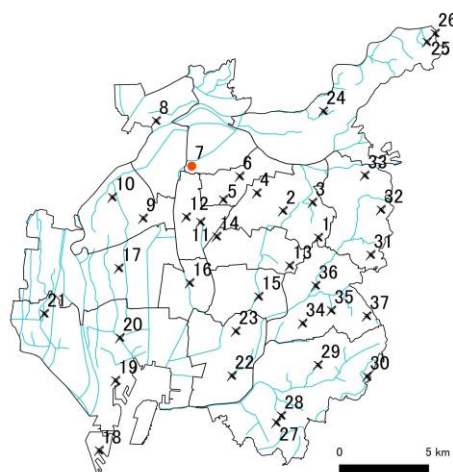
32. トフシアリ 確認地点数：1

名城公園 (No.7) のみで確認されました。

体長 1.5mm前後、体は黄色～黄褐色で頭部はやや暗色のことがあります。

草地、林縁、疎林などの土中や石下に営巣し、多種のアリの巣に行動をつなげて餌を盗み取ります。

今回の調査ではヒラタウロコアリと同様に、落葉層を篩ふるいにかけて採集されました。



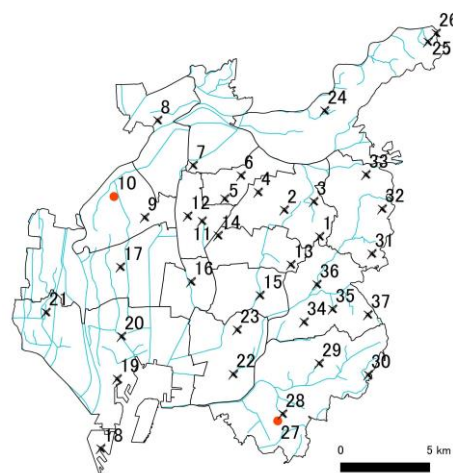
33. ウロコアリ 確認地点数：2

中村公園 (No.10) と大高緑地 A (No.27) で確認されました。

体長 2mm前後、体は黄褐色、腹柄節と後腹柄節には海綿状付属物があります。

林縁、森林に生息し、石下や朽木内、落葉層に営巣します。働きアリは林床を歩き回り、トビムシ類を長い大あごで捕らえて餌にします。

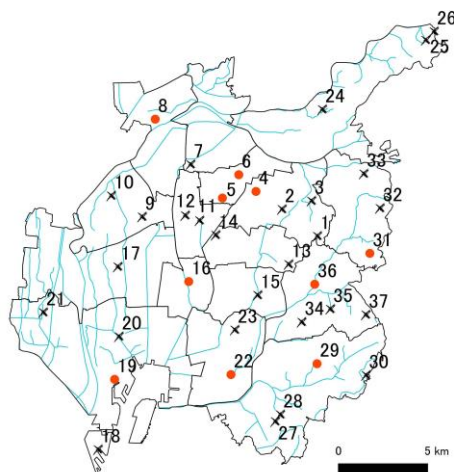
中村公園では見つけ採りで、大高緑地 A では篩ふるいにて採集されました。



34. ムネボソアリ 確認地点数：10

千種公園 (No.4)、
徳川園 (No.6)、熱田
神宮公園 (No.16) な
どで確認されました。

体長 2.5～3mm、体は黒～黒褐色です。
樹上性で枯れ枝中に営巣し、木の幹や葉の
上でよく見られます。



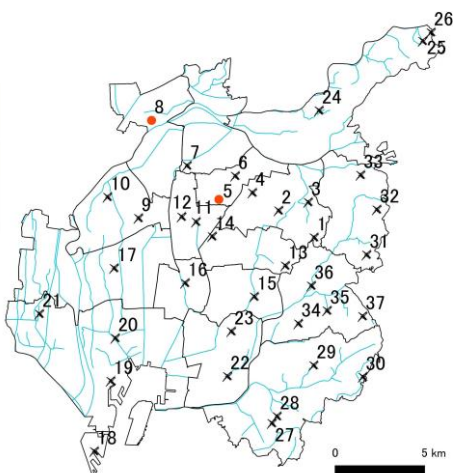
35. カドムネボソアリ 確認地点数：2

布池公園 (No.5) と庄
内緑地 (No.8) で確認さ
れました。**愛知県初記録
種**です。

体長 2～2.5mm、頭部・腹部は黒
色、胸部は黄褐色～黒褐色です。

公園や神社などの比較的開けた場
所で採集される比較的まれな種です。

布池公園では公園東側の樹木周辺
で、庄内緑地では木の幹上で採集され
ました。

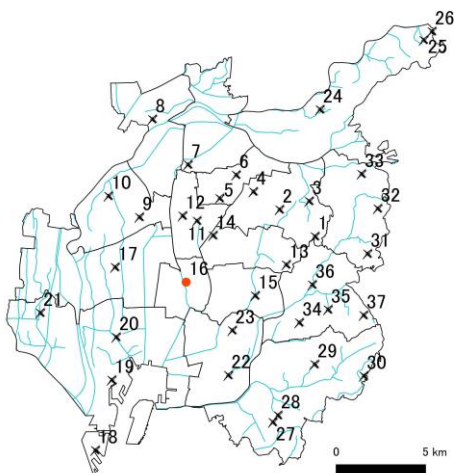


36. ハヤシムネボソアリ 確認地点数：1

熱田神宮公園
(No.16) のみで確認
されました。

体長 2～2.5mm、体
は黒～黒褐色です。林内や林縁部の立木の
枯れ枝に営巣します。

今回の調査では見つけ採りにて採集さ
れました。

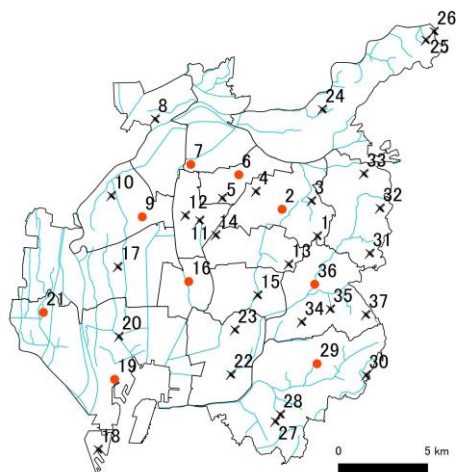


37. ハリナガムネボソアリ 確認地点数：9

城山八幡宮 (No.2)、徳川園 (No.6)、滝ノ水緑地 (No.29) など確認されました。

体長 2.5mm前後、体は黒褐色で触角や脚などは部分的に黄色味を帯びます。前伸腹節刺は長く、針状です。

草地などの乾燥したところに生息し、土中に営巣します。なお、地上徘徊性で樹木にはほとんど登りません。

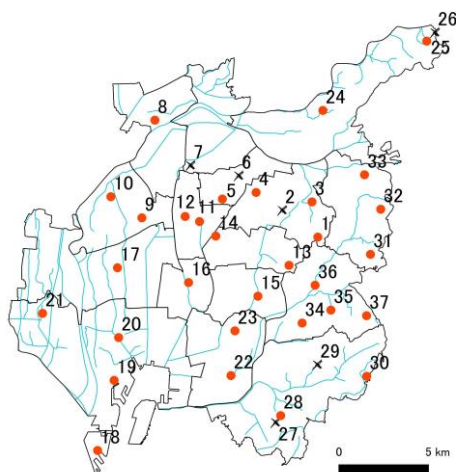


38. トビイロシワアリ 確認地点数：31

城山八幡宮 (No.2)、徳川園 (No.6)、名城公園 (No.7)、東谷山 (No.26)、大高緑地 A (No.27)、滝ノ水緑地 (No.29) の6地点を除く、31 地点で確認されました。本州で最も普通に見られる種のひとつです。

体長 2～2.5mm、体は暗褐色～暗赤褐色で、草地や裸地に生息し、石下や土中に営巣します。

今回の調査では花壇や舗装路、砂地、落ち葉の下、木の幹上など様々な環境下で確認されました。また、雑食性のため、今回の調査では見つけ採りのほかに、粉チーズやガムシロップ、ポテトチップスを用いたバイトトラップでも採集されました。

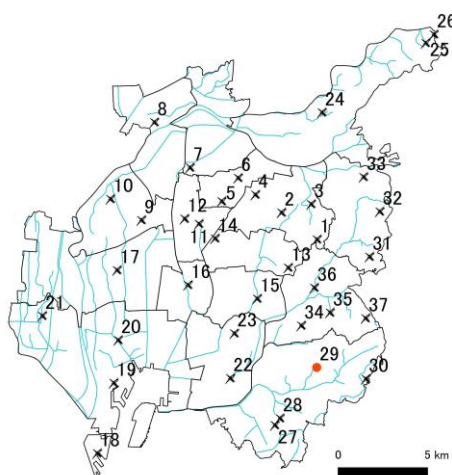


39. ウメマツアリ 確認地点数：1

滝ノ水緑地（No.29）のみで確認されました。

体長 2mm前後、体は細長く、赤褐色～暗褐色です。

林床性で倒木樹皮下や朽木内に営巣します。今回の調査地点でも、林内の朽木の中から見つけ採りにて採集されました。



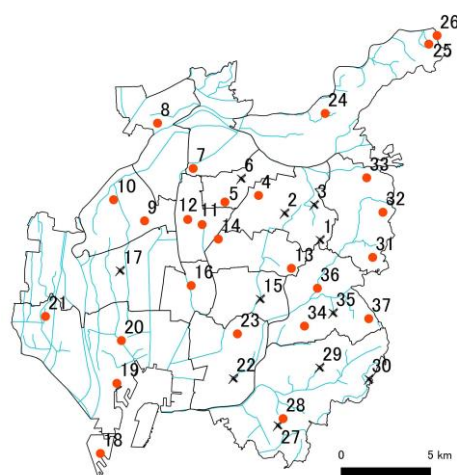
40. オオハリアリ 確認地点数：26

千種公園（No.4）、久屋大通庭園（No.11）、小幡緑地（No.24）などで確認されました。

体長 3～3.5mm、体は暗褐色～黒褐色で、触角や脚などは黄色味を帯びます。なお、腹部末端には上に反り返った長い刺針があります。

開けた場所から林内まで多様な環境で見られ、石下や落ち葉の下、朽木の中などに営巣します。

今回の調査では花壇や舗装路、木の幹上や根元、朽木の中などさまざまな環境下で確認されました。

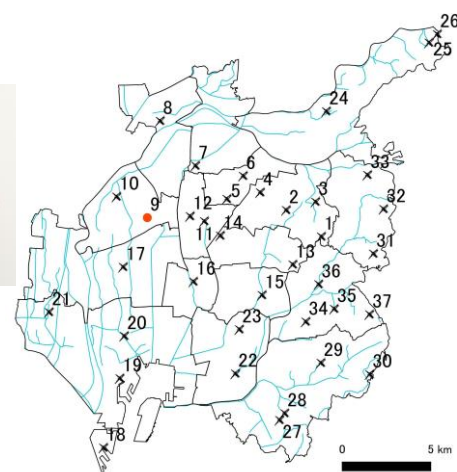


41. ケブカハリアリ 確認地点数：1

米野公園・熊野社（No.9）のみで確認されました。

体長 4.5～5mm、頭部のほぼ全体と胸部の一部が黒褐色であるほかは全身が黄褐色～赤褐色です。前種のオオハリアリ同様、腹部末端には上に反り返った長い刺針があります。

今回の調査では、熊野社林内の落葉上で見つけ採りにて採集されました。



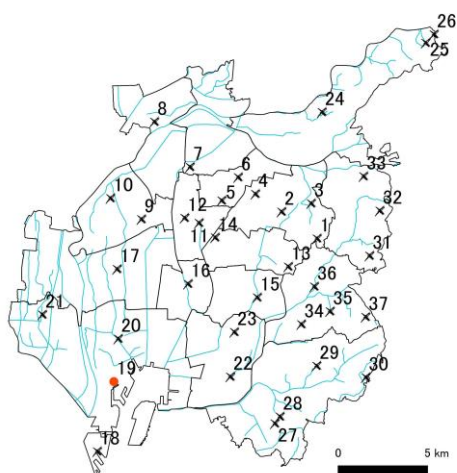
42. ヒメハリアリ 確認地点数：1

稲永東公園（No.19）のみで確認されました。

体長 2.5mm前後、体は褐色～暗褐色で、触角や脚などは黄色味を帯びます。

林内に生息し、石下や土中などに営巣します。

今回の調査では、林床の落葉下で確認されました。

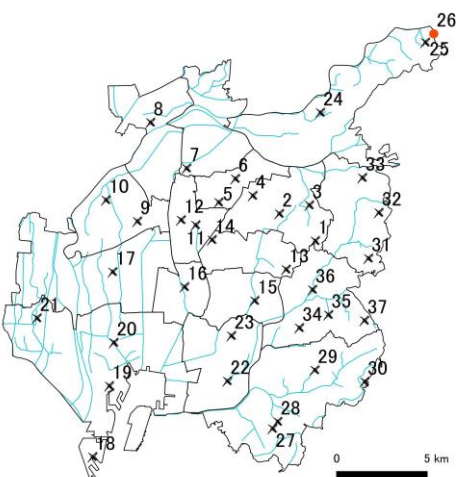


43. イトウカギバラアリ 確認地点数：1

東谷山（No.26）のみで確認されました。

体長 2.5～3mm、体は黄褐色～赤褐色で、全身が比較的短い細かい毛で覆われています。また、目は痕跡的こんせきです。

照葉樹林などの林床に生息し、普通地上には現れませんが、表層土と落葉を篩ふるいにかけることで採集できます。今回の調査でも、林内の落葉層を篩にかけて採集しました。



【参考文献】

丸山宗利（2015）『アリのくらしに大接近』，あかね書房。

寺山守・久保田敏（2009）『アリハンドブック』，文一総合出版。

寺山守・久保田敏・江口克之（2014）『日本産アリ類図鑑』，朝倉書店。

山根生気・原田豊・江口克之（2010）『アリの生態と分類—南九州のアリの自然史』，南方新社。

日本産アリ類画像データベース，<http://ant.miyakyo-u.ac.jp/J/index.html>，（2019-03-18 参照）

【アリ写真】

No.11、12、20 は公益財団法人日本自然保護協会提供（撮影：高野丈）、No.3、4、8、14、15、21、27 は西部めぐみ撮影、その他はすべて寺本匡寛撮影。

6. まとめ



今回の一斉調査から、身近な公園に意外なほど多くの種類のアリが生息していることがわかりました。

調査では1地点あたり**最低3種、最高18種**のアリが確認できましたが、この差は調査地の面積に比例した結果ではないと考えられます。なぜなら、敷地面積が小さな**なごや生物多様性センター**

(No.36)で**18種**もの種が確認されたからです。探す場所や探し方、例えば、わずかに堆積した朽木や腐葉土の中などをもう少し探せば、小さな公園でもより多くの種が見つかった可能性があります。実際に、**名城公園**(No.7)では、わずかに堆積した落ち葉の中(A₀層)に**ヒラタウロコアリ**や**トフシアリ**(p.29 参照)といった種が確認されましたが、**鶴舞公園**(No.14)では、落ち葉がきれいに清掃されていたため、これらの種は確認されませんでした(図11)。同じような環境の公園・緑地でも、堆積物などの**微環境の有無**が**アリの種多様性に影響を及ぼす**と考えられます。

一方で、林分環境が比較的多く残されている**大型の緑地**(東山公園:No.1、平和公園:No.3、小幡緑地:No.24、大高緑地:No.27・No.28、猪高緑地:No.32、相生山緑地:No.34)には、東谷山(No.26)で確認されたような**森林性の種が生息している可能性が高い**と考えられます。今回、これらの種が確認されなかった理由として、一般参加者と調査しやすい開放的な環境を中心に調査したことが挙げられます。

なお、今回はなごや生物多様性センターの敷地内で最も多くの種が確認された結果となりましたが、これは、リーダー講習会に参加した総勢59名(うち個人参加4名)と講師の岸本先生によって、センター敷地内がくまなく調査されたことによると考えられます。



図11. 名古屋市内の都市公園におけるA₀層の差異

上: 名城公園(No.7)、下: 鶴舞公園(No.14)



図12. リーダー講習会での採集の様子

7. 調査後のアンケート



7-1. 調査に対する満足度

一つの公園で多種多様なアリが観察できたことへの驚きや、調査を楽しんで行えたとの意見が多数得られました。

今回の一斉調査において、どこにでもいる身近な生物であるにもかかわらず、普段ほとんど注目することがない「**アリ**」を改めて観察することで、身近な自然に親しみと関心を持ってもらうための良い機会が提供できたと思われます。

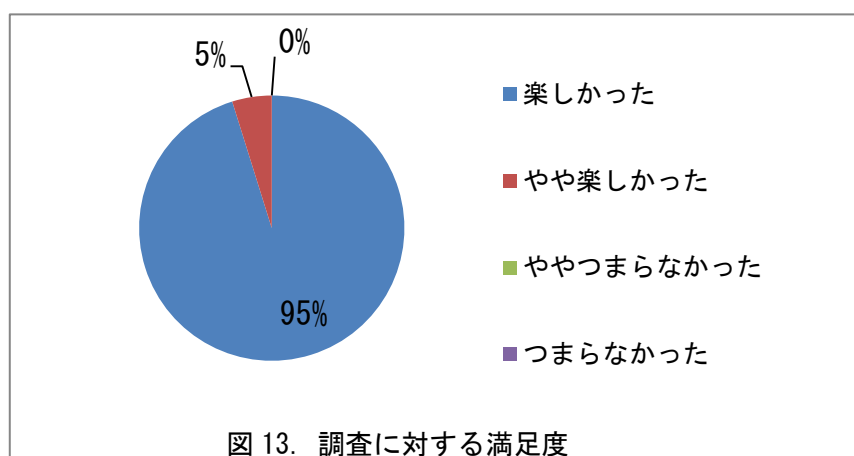


図 13. 調査に対する満足度

7-2. 参加者について

参加者の公募方法は図 14 で示した通りです。このうち、「配布チラシ」と「協議会事務局からの案内メール」を見ての参加が半数でした。

なお、参加者数は過去 7 回の調査の中で最も少ない人数でした。これは、調査対象が「アリ」という注目されにくい生物であったことが影響したかもしれません。

今回のアンケートでは参加者の年代の集計は行っていないですが、調査期間が夏休み中だったこともあり、子供とその保護者の方にも多数参加いただきました。

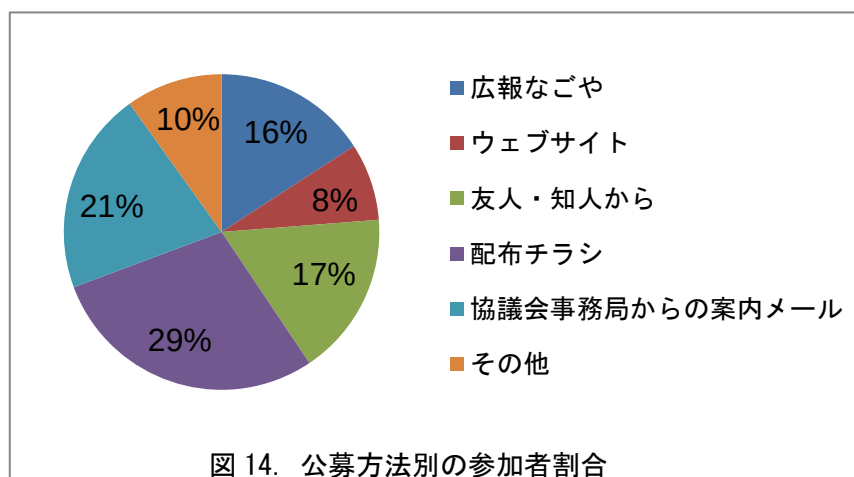


図 14. 公募方法別の参加者割合

7-3. 参加者の声 ―アンケートより一部抜粋―

- ・ アリの種類を少し覚えられたことと、メンバーの方々と周るのが楽しかった。
- ・ 色々なアリが見つかり、また、アリグモやアオオビハエトリグモ、アリジゴクなども観察できてよかった。
- ・ 普段、見過ごしていたアリについて知られてよかった。
- ・ 何気ない足元のアリにでも、アリ目線でモノを見る楽しみに気付いた。
- ・ 詳しくアリを見ることがなかったので、良い機会になった。
- ・ 同定するのが面白かった。いろいろな種類のアリがいるな、と思った。
- ・ アリの同定はとても難しいが、とても種類が多い。
- ・ いっぱいアリをゲットして楽しかった。
- ・ 様々なアリが身近にいることがわかり、面白かった。
- ・ アリが速くて、つかまえられなくて、くやしかった。
- ・ よくよく見たら、かわいいと思えた。
- ・ 初めて時間をかけてアリを見られて良かった。アリは意外と速く動いてびっくりした。
- ・ クロオオアリがとれて、うれしかった。
- ・ 普段、足もとに居てもあまり気にしないアリについて詳しくなった。
- ・ 色々なアリがいることがわかった。
- ・ 森の中など、思っていた以上にアリの種類が多く、驚いた。
- ・ アリにたくさんの種類があり、住む場所によっても違いもあって、面白かった。
- ・ アリの特徴について知ることができたこと。
- ・ アリをその場でとって、その場で名前を教えてもらえること。
- ・ アリにも色んな種類があり、町中の公園で 10 種類以上いたことに驚いた。
- ・ いつもは気にしていなかったアリですが、思った以上に種類がいて面白かった。
- ・ アリを捕まえるのも楽しかったし、顕微鏡を使って種類を同定するのも初めてで、面白かった。
- ・ 雨の中、アリなんて見つかるのかしら？と思って来たが、たくさんアリがいて、夢中で採りだすとおもしろかった。アリ目線で見るとは普段はないので、楽しい経験だった。
- ・ アリをじっくり観察することが今までなかったので、今回じっくり見ることで興味深かった。
- ・ 雨の中だったが、結構いろいろな種類のアリがいたこと。
- ・ ガムシロップでこんなにアリがきたこと。
- ・ 身近に色々な種類のアリがいることがわかって面白かった。今までに見た中で、一番大きいアリを見た。
- ・ アリにも色んな種類がいてびっくり。
- ・ 大きいアリがいてびっくりした。
- ・ 意外といろいろなアリがいて面白かった。



ガムシロップを含ませた綿棒に集まる
アミメアリ(猪高緑地)

- ・ 雨だったが、意外にも発見できてよかった。
- ・ アリがたくさんいた。いろんな種類のアリがいることを知れてびっくりした。
- ・ アリを中心とした調査は初めてで新鮮だった。アリをつかまえるのは難しかった。
- ・ 先生と環境問題を色々会話できたこと。参加者が予想外に居なかったこと。
- ・ 詳しい子供との、会話しながらの作業が良い。
- ・ 樹上と地上との各々好きな所にいるのを見つけるのが楽しい。
- ・ アリの同定はとてもむずかしいが、とても種類が多い。
- ・ たくさんアリがとれた時が特に楽しかった。
- ・ 多様な種類のアリを詳細に観察することができた。
- ・ 不明のアリが多く、くやしいけど、そこがとても楽しかった。
- ・ 小さくて目で見ただけではわからないアリを、顕微鏡を使って同定できて面白かった。
- ・ えさのトラップをしかけたら、思っていたよりアリが集まって面白かった。
- ・ アリが思っていたより速かった。こんなに種類があるとは知らなかった。
- ・ アリがはやくてつかまえにくかった。
- ・ エサをまいたり、エサによって違うアリなのがおもしろい。雨天で少なくなるのが、よくわかった。
- ・ アリを調べるのに他の生きものも見れた。
- ・ アリの行列が見られたこと。チーズが嫌いで、甘い物によってきた。
- ・ いろんな所にいるアリをつかまえられて楽しかった。
- ・ 思ったよりたくさん種類のアリがいた。小さいのや大きい、のんびりしたのや、速く動くのなど、いろいろいておもしろかった。
- ・ えさをまいたら、いっぱいできてきたこと。
- ・ 色々な種類のアリを見つける事が出来た。
- ・ トラップ（ビニール袋）にアリの集まりが悪かった。トラップ設置の場所がよくわからない。
- ・ 今まで気にしていなかったけれど、たくさん種類のアリがいることがわかった。
- ・ 色々な生物をみつけた。
- ・ 同定をするのが楽しくて、面白かったです。
- ・ 動きが速くて採るのが面白かった。
- ・ いつも見たことがなかったアリが見えてわかった。
- ・ アリの動きを見てると面白かった。まっすぐ動く、まがる、かくれる、すばしっこくてつかまえるのが難しい。



雨の中での調査風景(鶴舞公園)

8. 同定資料



日本自然保護協会作成
「自然しらべ2018 身近なアリしらべ」
パンフレットより転載。

身近な場所でくらすアリを観察しよう！ 修正版

日本では約300種類のアリが記録されています。

その中で、身近な公園や家のまわりで確認できるアリに注目して、自然の変化をしらべます。

ぜひ、あなたも身近な場所で「アリしらべ！」にチャレンジしてみませんか。

生息環境：裸地● 草地● 森●

営巣場所：土中◆ 倒木・石◆ 林床◆ 樹上◆

☞：針で刺され、少し痛い時があるのと
手でさわらないこと

体長：シルエットはアリの平均的なサイズ

胸柄が2節のアリ	アシナガアリ	アズマオオズアリ	トビロシワアリ	キヨロシリアゲアリ	カドフシアリ	ウメマツアリ	ムネボソアリ	ヒメアリ	ウロコアリ
	イソアシナガアリ	オオズアリ	オオシワアリ	ハリブトシリアゲアリ	テラニシリアゲアリ	ハダカアリ *1	ハリナガムネボソアリ	クロヒメアリ	アミメアリ
胸柄が小さい1節のアリ	大きい			中型				小さい	
	クロオオアリ	ミカドオオアリ	ヨツボシオオアリ	イトウオオアリ	クロクサアリ	アメイロアリ	サクラアリ		
胸柄が大きい1節のアリ	体は黒色			体は茶色～黄色				侵略的外来アリ	国内移入アリ
	トゲアリ	オオハリアリ	ヒメハリアリ	イトウカギバラアリ	トゲスネハリアリ	アカカミアリ	アルゼンチンアリ (国内定着)	アギトアリ	
		テラニシハリアリ	女王アリ	ワタセカギバラアリ	ニセハリアリ				

*1 ハダカアリには近年の研究により識別困難な2種が含まれる。 *2 クロヤマアリには近年の研究により識別困難な4種が含まれる。

アリについて詳しく知りたくなったら
図鑑やインターネットでしらべてみよう

<おすすめ図鑑>
「アリハンドブック」寺山守、久保田敏著
文一総合出版 2009年発行

「日本産アリ類図鑑」
寺山守、久保田敏、江口克之著
朝倉書店 2014年発行

<ウェブサイト>
「日本産アリ画像データベース」
<http://ant.miyakyo-u.ac.jp/j/index.html>
アリ類データベース作成グループ2008作成

北海道と琉球諸島にくらすアリについて
北海道と琉球諸島にくらすアリのマニュアルは、
別紙として作成して、日本自然保護協会の「自然
しらべ2018 アリさがし! 特設サイト」に掲載して
います。マニュアルご希望の方はダウンロード
してご利用ください。

9. 活動アルバム



参加いただいた皆様、ありがとうございました！





参加者名一覧（順不同）

浅井昭枝 荒谷典子 石川進一郎 石黒隼三 石原則義 石丸哲子 石丸瑞穂 磯村照子 井土清司 伊藤昌子
今尾由美子 上田理香 梅本洋子 大田悠平 大矢芳樹 小笠原芳夫 岡田悠司 小川敦己 小川直己
小川尚子 小川康弘 尾関恵遠 尾関理恵 尾関理深 表泰輔 表由利江 梶陽太 鹿住担 葛西圭悟 葛西美江
加藤鷺登 加藤聖子 加藤孝 加藤文男 加藤律子 加藤亮 金森晴楽 金森美紀子 川本洋敬 川本竜慈
貴船あゆみ 貴船湊介 木村えま 熊澤慶伯 久村三重子 倉橋樹莉 倉橋みさ クルズスキ杏那 クルズスキ淳子
小久保明子 小久保咲音 小久保佑哉 小島香織 小島瑠璃子 小柳佑哉 近藤和子 近藤記巳子 近藤桃葉
榊原靖 櫻井廣二 佐々木大助 佐藤裕美子 柴田元 新山雅一 末澤和揮 杉田郁実 杉田知子 杉田実保
鷲見順子 高岡留美 タカダコイト 高田航希 高田裕香 高橋佑実 瀧川正子 武田一虎 田中晴大 田中雅
田中美保子 谷幹雄 田原尉之 茶原真佐子 柘植実 都築卓 都築陸 寺本和央 寺本匡寛 寺本真理子
研谷厚 仲井進 中島彩瑛 中島典子 中島凜大 中嶋彩乃 中嶋陽子 奈加寿美代 奈加英昭 長屋強平
西部めぐみ 布目均 野中賢輔 長谷川博樹 長谷川泰洋 畠中十和 巾賢治 林大三 原晋太郎 伴知幾
彦坂靖子 平木朝陽 平木孝奈 平野恵嗣 福田利夫 藤村海生 藤村かずや 藤村波月 藤原純子 古川文子
星克巳 堀田恭史 堀千鶴 堀桃香 前田拓輝 前田英芳 前野圭子 前野朴春 間野隆裕 眞弓浩二
村瀬実来 毛利崇 森川晴つみ 森川初美 柳井亜希 柳井心希 柳本光義 山下哲範 山田湊 山田るみ
山本憲作 山本雅人 横山悠理

調査に参加いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。

なごや生きもの一斉調査 2018・アリ編 報告書

発行：なごや生物多様性保全活動協議会

（事務局：名古屋市環境局なごや生物多様性センター内）

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地

TEL: 052-700-7792 FAX: 052-839-1695

編集：寺本匡寛・西部めぐみ（なごや生物多様性センター）

2019年4月発行